



2020年ダイヤ改正について提案を受ける！

地本は支社より、「ダイヤ改正概要及び要員体制の見直し」の提案を受けました。主な内容は以下の通りです。

1. 窓口営業時間変更に伴う体制変更

2020年3月ダイヤ改正における千葉支社の主な実施内容は、

- 「成田エクスプレス」東京～成田空港間の全列車を12両で運転
- 「富士回遊」を増発し、千葉始発「あずさ3号」に併結
- 「しおさい」の一部列車で時刻を変更
- 中央・総武各駅停車で早朝・深夜帯の運行体系を変更
- 各線区のブラッシュアップ

等であり、これに合わせて乗務員関係区所の乗務行路を見直す他、諸施策を実施することとする。

■ダイヤ改正規模(速報値)..... ▲5.3キロ

(1) 乗務行路の見直し及び乗務行路数を踏まえた要員体制の見直し

実施個所 全乗務員区所

(2) 乗務員関係区における臨要員の見直し

- ①概要 臨時列車実績等を考慮した臨要員の配置を行うとともに、要員体制を見直す。
- ②実施個所 (運転士)千葉運輸区・蘇我運輸区

(3) 要員関係

	職種	(実施前)	(実施後)
習志野運輸区	車掌	124	127
	運転士	100	103
千葉運輸区	運転士	120	119
蘇我運輸区	運転士	77	76

2. 実施時期 2020年3月14日(土)

3. その他 ダイヤ改正に伴う必要な教育・訓練は実施する。

■【提案時の議論の特徴点】

- ・今回のダイヤ改正の主要な目的は、中央・総武緩行線の運行体系の見直しである。(緩急分離)
- ・中央・総武緩行線へのホームドア設置駅拡大と、慢性遅延解消を目的として、運転時分の見直しを行う。
- ・千葉駅改良工事による線閉作業が無くなったことにより、深夜帯の幕張車両センターへ回送する臨時航路が発生しなくなった。そのため、千葉運輸区、蘇我運輸区の運転士の臨要員を見直す。
- ・しおさいの時刻変更は、日中帯の銚子・九十九里方面からご利用されるお客さまの声に基づいて行う。
- ・保守間合い時間について、千葉～成田空港間は深夜帯の臨時列車の定期行路化に伴い、最大で△15分。御茶ノ水駅バリアフリー化工事に伴い、御茶ノ水からの初電を津田沼から回送することとなり、津田沼～御茶ノ水間で最大△9分となる。
- ・総武快速線へのE235系の導入は、2020年度中に開始される。
- ・「成田エクスプレス」の東京～成田空港間の全列車を12両化に伴っての要員の変更はない。

安全で働きがいのあるダイヤを実現するために、職場議論を積み重ね、組合員の声を基に、地本は、団体交渉を行っていきます！